

CSRレポート



2024年度

(対象期間:2024年4月1日～2025年3月31日)



本社社屋



屋上太陽光発電



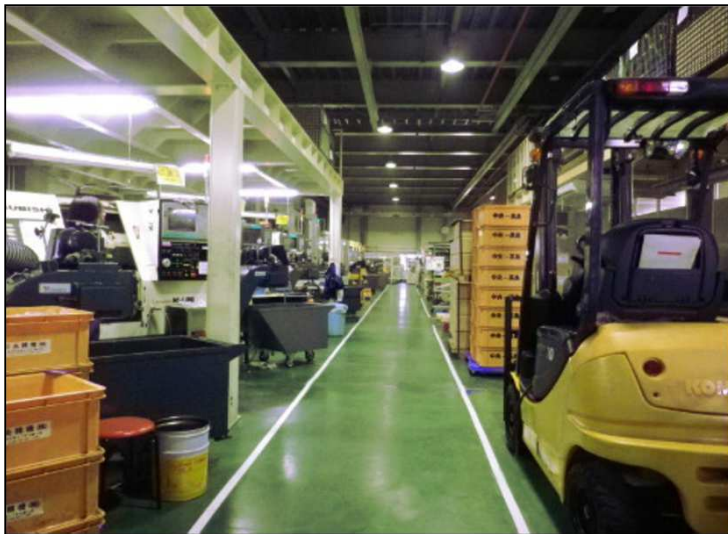
中央精機株式会社
Chouseiki Co.,Ltd.

2004年2月20日 ISO14001 認証取得

作成日: 2025年6月26日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
経営理念	3
品質方針／環境方針	4～5
組織の概要／事業・製品の紹介	6
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7
主な環境負荷の実績	7
カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み	7
環境目標・計画及びその実績	8
環境目標・計画の取組結果とその評価、次年度の計画	8～12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	12
リスクへの備え	13
マネジメントレビュー	14
これまでの環境活動の紹介	14
編集後記	14



ごあいさつ

私たち中央精機株式会社は、『ものづくり』に携わる製造業が日本を支える主要産業であるという、信念と高い志のもとに設立され、1954年の創業以来、精密機械部品加工及びロウ付加工を手がけてきました。

『高品質・低コスト・短納期を図り、お客様の期待に応える事により社会への貢献となす』という経営理念のもと、航空機業界・産業用機器業界（溶接機をはじめロボットやレーザー関連など）・医療機器業界など、幅広く対応して参りました。

また、技術者の育成に注力し、常に技能・技術の向上に努めており、その技術力は高精度・高品質が要求される航空機業界において、高い評価を受けています。

私たちはこれからも、より現場力を高め、全従業員が一致協力し、社会に貢献していきたいと願っています。

最後に、地球温暖化が加速するなかで、気候変動に対する対策についても経営の重要課題ととらえて、今後も積極的に取組みを推進して参ります。

会社理念・社是・経営理念

会社理念

私たち中央精機株式会社は、『ものづくり』に携わる製造業が日本を支える主要産業であるという、信念と高い志のもとに設立されました。

私たちはこれからも、より現場力を高め、高品質・低コスト・短納期を達成し、顧客の信頼と満足を獲得するとともに、全従業員が一致協力し、社会に貢献していきたいと願っています。

社是

我々は、常に技術の向上に努め、人格の高揚と健康に留意し社会の信用を厚くし、各々が職責を全うし生活の安定と向上を願うものである。

経営理念

高品質・低コスト・短納期を図り、お客様の期待に応える事により社会への貢献となす。

品質方針

品質の保証と生産性の向上は我が社の命

全社員が、この品質方針を肝に銘じ、『早く正確に』をモットーに、常に変化に挑み、
たゆまぬ研鑽を重ね、顧客に満足願える仕事の遂行を、永遠に追求することと致します。
その行動指針を以下のように定め実行します。

行動指針

1. 初品検査、自主検査の徹底で不良撲滅します。
2. 顧客満足の向上を目指し、要求事項への適合及び
品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善を行います。
3. 当社の事業活動に関係する関連法規制および
当社の同意した各種協定を遵守します。
4. この品質方針を実現する為に品質目標を各部門に展開し、
その実施状況を見直します。
5. この品質方針は、全従業員に周知徹底するとともに、一般社会に公開します。

(平成25年5月1日 改訂)

環境理念・環境方針・行動指針

環境理念

私たちは、地球環境の保全が人間に与えられた崇高な使命である事を自覚し、人類共通の
重要課題として事業活動のあらゆる面で地球環境及び地域の環境に配慮した行動をします。

環境方針

当社は、金属及び樹脂の精密機械加工を主な事業活動としています。

この事業活動が環境に与える影響を十分に理解し、環境保全を経営の優先課題と位置付け、環境マネジメントシステムの運用により継続的改善と汚染の予防に努めます。

また、品質の良い品物を効率よく生産することが環境負荷への軽減に貢献できると考え、日々、技術力の向上に努めています。

尚、その行動指針を以下のように定め実行します。

行動指針

1. 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 持続可能な社会の実現を図るため、次の活動を推進します。(★印は維持活動)
 - 1) 脱炭素化社会へ向けた二酸化炭素排出量削減活動  
 - 2) 有害化学物質使用禁止活動 ★ 
 - 3) 環境面への安全性と資源の有効利用に配慮した物品の採用(グリーン購入) ★ 
 - 4) 循環型社会へ向けた廃棄物の発生抑制、リサイクル活動(3R)  
 - 5) 地域社会との共生を図るための工場内外の美化活動(3S) 
 - 6) 改善提案を募り環境負荷を軽減する活動(提案)  
 - 7) 工程内不良削減活動(不良削減) 
3. 環境教育・周知活動を推進し、社員の環境意識の向上を図ります。 
4. この環境方針は一般に公開します。

改定日：2022年3月31日

代表取締役社長 森 正雄

組 織 の 概 要

更新日：2025年6月26日

(1) 名称及び代表者名

中央精機株式会社

代表取締役社長 森 正雄

主要設備

(2) 所在地

大阪府茨木市目垣2丁目34番14号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理事務局

TEL:072-638-9071

FAX:072-638-9076

(4) 事業内容

航空機用精密機械加工部品の製造
溶接機用加工部品の製造及び組立
溶接機用精密部品のロー付け加工
溶接用ロボット部品の製造
CO2レーザー発振器用部品の製造
プリント基板穴あけ機用部品の製造
医療機器用精密機械加工部品の製造及び組立

(5) 事業の規模

資本金	1,000 万円
従業員	36 名
土地	1,359 m ²
延べ床面積	1,693 m ²

(6) 事業年度 4月1日～3月31日

◆認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：中央精機株式会社

活動：金属部品・樹脂部品の機械加工及び組立

複合加工機 MAZAK Integrex i-200



複合NC旋盤 MAZAK INTEGREX J-200



複合NC旋盤 森精機 NLX1500



NC旋盤 OKUMA LCS250



NC旋盤 アマダ JJ-1



複合NC旋盤 MAZAK QT Nexus 200MSV



セル加工システム
ロボット付旋削&切削+バリ取りマシン

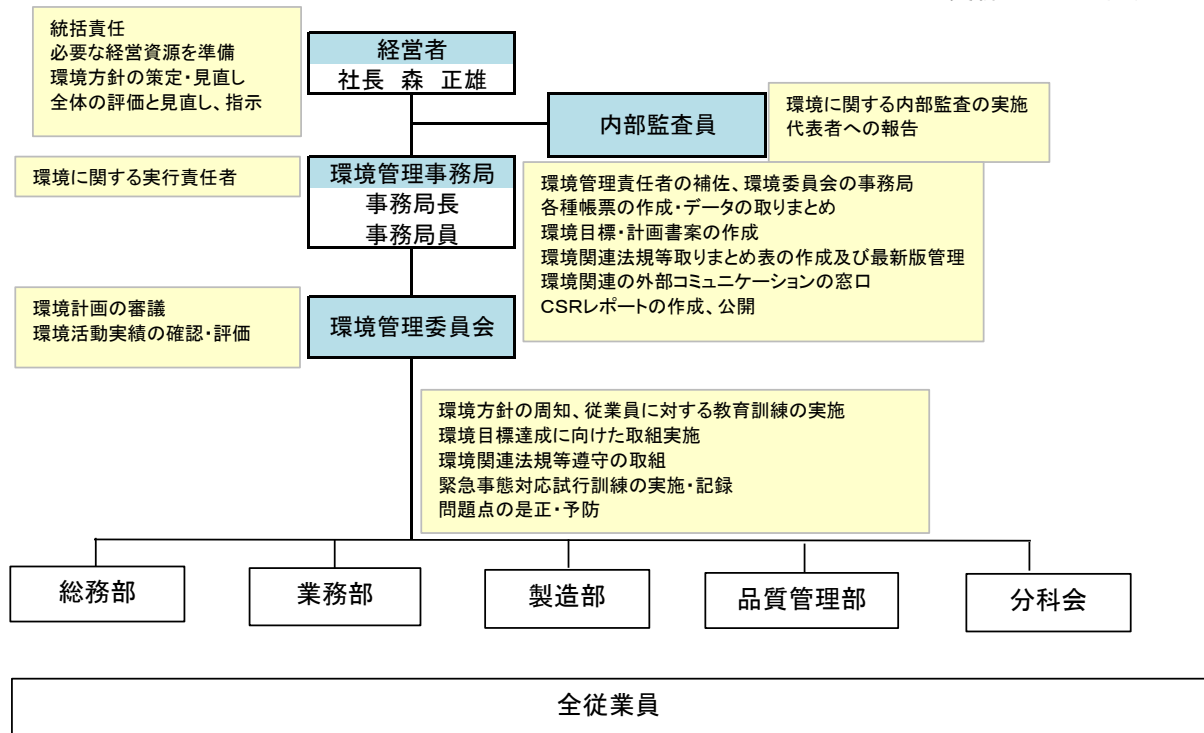


◆取り扱い製品の紹介



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2025年6月26日

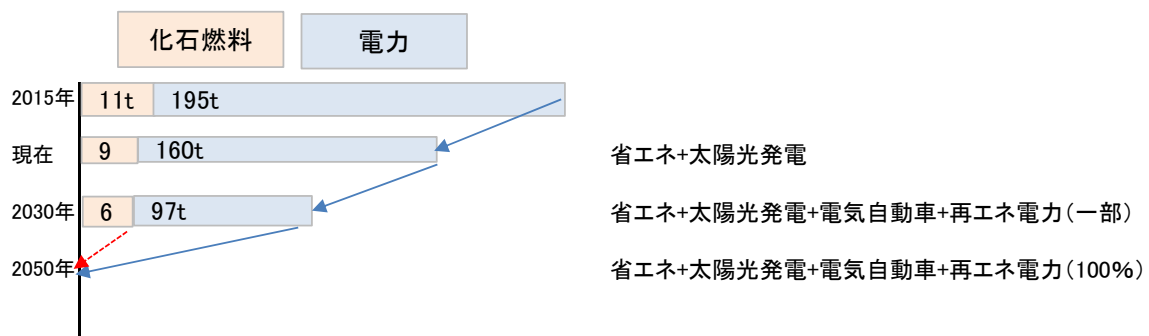


主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	184,651	183,859	181,346
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	246	292	227.7
産業廃棄物排出量	kg	7,160	12,550	8,630
水使用量	m	717	619	623
※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)		0.480	0.477	0.459

kg-CO₂/kWh

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み



環境目標・計画及びその実績

□環境経営目標及びその実績

年 度		基準年	2024年度		評 価	2025年度
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	174,446		171,988	○	
	kWh	365,715		374,701	×	
	基準年度比	2023年		102%		
売上高原単位		万円/kWh	7.11	7.52		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,413.0		9,345.0	○	
	基準年度比	2023年		99%		
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	183,859	181,333	○	
一般廃棄物の削減	kg	589.5	516	227.7	○	516
	基準年度比	2018年	88%	39%		88%
水溶性切削油購入量削減	L	2,800		1,400	○	
	基準年度比	2018年		50%		
不良削減 損失金額(売価)/内作高=0.45%以下	%	1.12	0.45	0.42	○	0.45
	基準年度比	2020年	40%	38%		40%
提案活動 12.5件/人・年 以上	件	16.60	13.00	18.50	○	13.50
	基準年度比	2011年	78%	111%		81%
電力量削減 作業時間の短縮	H	55,530	▲ 500.0	▲ 586.76	○	▲ 500.0
	基準年度比	2011年	99.1%	117%		99.1%
工場美化(3S活動の定着で顧客満足度を高める)		行動目標(次項による)				

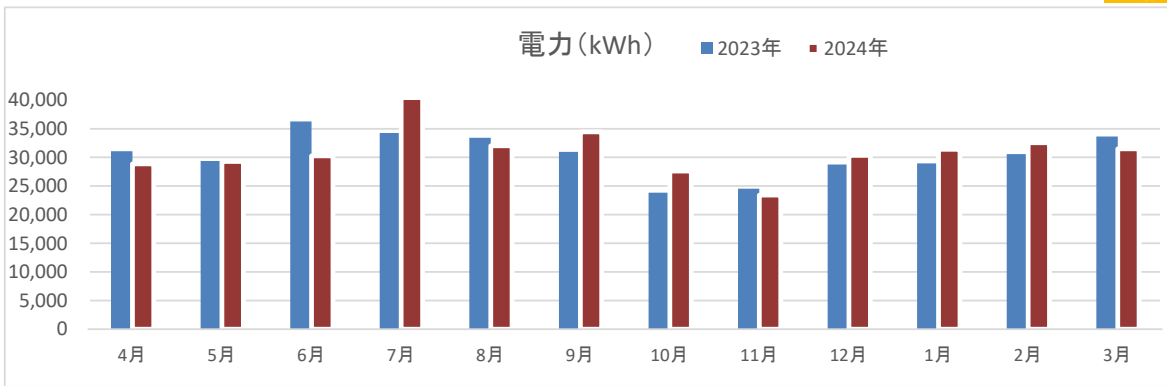
環境目標・計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

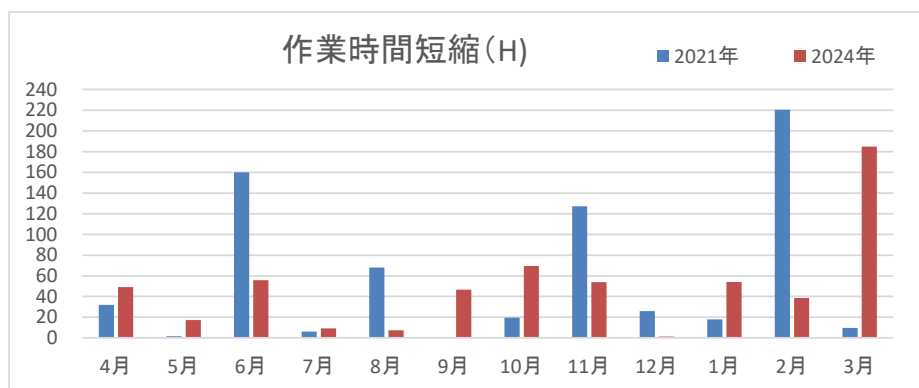
活動:○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力量削減(作業時間の短縮)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標(▲500H/年)	○	年間目標500Hに対し実績586.76Hで達成。次年度も同目標で取り組んでいく。
・電気使用量の見える化	○	2回/月の電気使用量の周知で節電への意識付けができた。次年度も同様に取り組んでいく。
・室外機カバーの取付・取外し	○	取付(6月)、取外し(11月)を実施し夏期エアコン稼働の負荷を低減できた。次年度も同様に取り組んでいく。
・エア漏れチェックの確認	○	定期的な漏れチェックにより、エアコンプレッサーの負荷を軽減できた。次年度も同様に取り組んでいく。
・太陽光発電量 実績集計	○	年間実績31607.02kwhを発電。次年度も同様に取り組んでいく。
・デマンド最大値の管理	×	従来159kw→170kwへ上昇(2024年7月～)。更新が出来る様、節電の声掛けを行っていく。
・休日の待機電力削減	○	長期休暇のブレーカーoffにより待機電力を約792kwh削減。次年度も同様に取り組んでいく。
・エアコンフィルター清掃	○	定期的な清掃により、エアコン稼働の負荷を低減できた。次年度も同様に取り組んでいく。

取組紹介欄



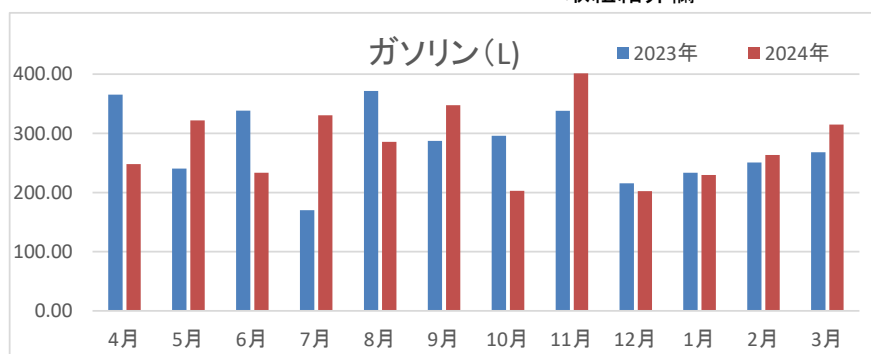
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	31,081	29,366	36,290	34,263	33,441	30,974	23,832	24,536	28,750	28,937	30,596	33,649
2024年	28,850	29,261	30,249	42,976	32,048	34,466	27,589	23,396	30,362	31,414	32,575	31,515



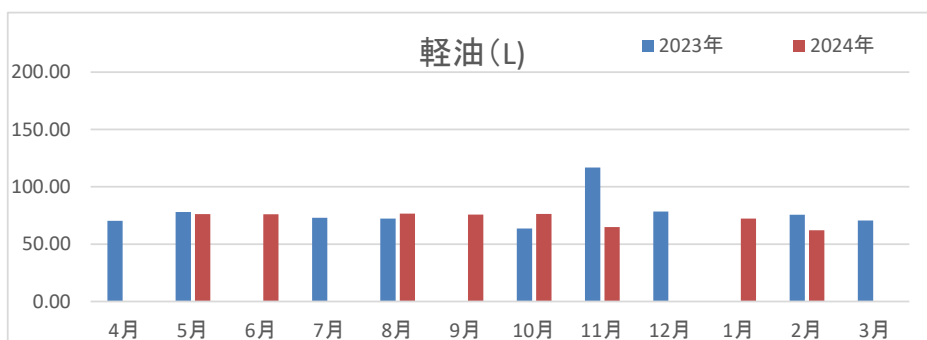
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	31.83	1.58	160.05	6.10	68.09	0.27	19.55	127.21	25.77	17.70	220.50	9.52
2024年	49.01	17.18	55.63	9.17	7.33	46.46	69.59	53.82	1.16	54.00	38.48	184.93

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・アイドリングストップ励行	○	・アイドリングストップ励行について、対象者に教育を実施し、意識付けを行った。 ・輸送回数の低減については、軽油の使用量は前年度比 約17%減少した。 ガソリンの使用量は前年度とほぼ同水準であった。 結果、二酸化炭素排出量は前年度より68kg減少した。 次年度も引き続き輸送回数の低減を意識して運搬計画を立てる様努める。
・輸送回数の低減	○	

取組紹介欄



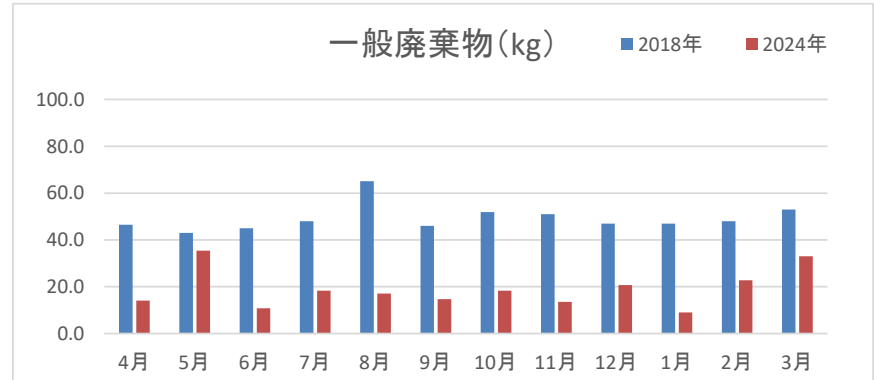
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	365.52	240.65	338.44	170.35	371.87	287.44	296.14	338.37	215.71	233.69	250.83	268.09
2024年	248.21	321.98	233.49	330.75	285.88	347.58	203.14	401.37	202.46	229.90	263.54	315.04



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	70.25	78.01	0.00	72.95	72.24	0.00	63.68	116.84	78.45	0.00	75.63	70.61
2024年	0.00	76.18	76.02	0.00	76.65	75.71	76.28	64.89	0.00	72.27	62.03	0.00

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標(516Kg以下)	○	分別の徹底にご協力いただいた結果一般廃棄物は減少しています。一般紙・段ボール・新聞紙の資源ゴミも2024年度は年間で3430kg回収しました。2025年度も引き続き一般廃棄物削減・資源ゴミの分別・回収を推進していく。
・一般廃棄物の分別回収	○	
・資源ごみの分別回収の徹底	○	
・ゴミの持ち込み禁止運動の推奨	○	
・ビニールゴミの再利用	○	
・リサイクルの推進(削減)	○	
・PPバンド、ストレッチフィルムの状況確認及び回収	○	
・木材の状況確認及び回収	○	
・産業廃棄物の廃棄物量を周知	○	

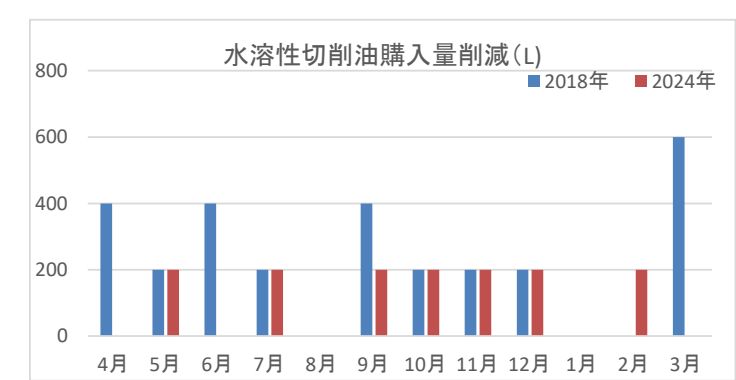
取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	46.5	43.0	45.0	48.0	65.1	46.0	51.9	51.0	47.0	47.0	48.0	53.0
2024年	14.1	35.4	10.8	18.3	17.1	14.7	18.3	13.5	20.7	9.0	22.8	33.0

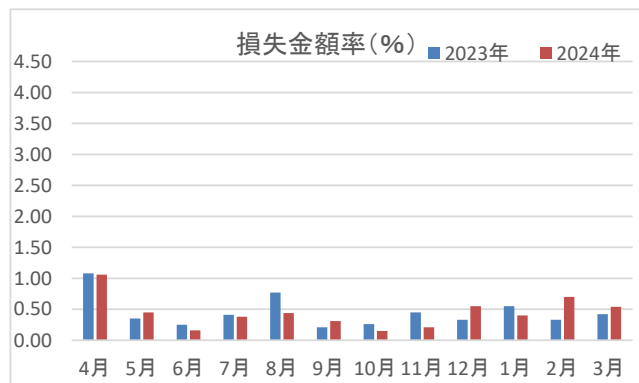
水溶性切削油購入量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・購入実績集計(昨年実績1,600ℓ)	○	切削水購入量は1400ℓとなり、昨年度と比較して200ℓ減となった。 ・切削水発泡によるトラブルが低減された。 (例)オーバーフローによる清掃や、切削水不足による品質不良 次年度も引き続き購入量削減を目的とした活動を推進していく。
・濃度管理の徹底	○	
・濃度確認実施確認	○	

取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	400	200	400	200	0	400	200	200	200	0	0	600
2024年	0	200	0	200	0	200	200	200	200	0	200	0

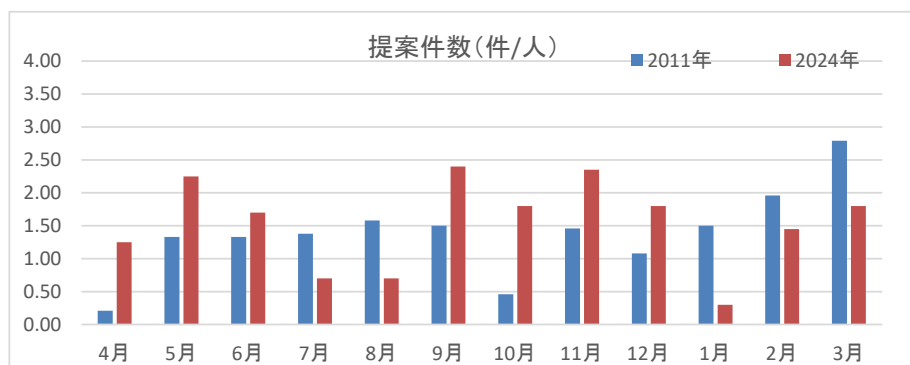
不良削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標(損失金額率=0.45%以下)	○	・目標0.45%に対して0.42%と達成。
・再発防止策の推進(原因究明と対策)	○	・次年度は、不適合通知書の承認欄に現場責任者の押印を頂き、
・原因別集計(4M活動)	○	原因・対策の周知・内容の深掘りを行う。
・不具合対策用紙の実施集計及び実施確認	○	
・不良対策会議推進 効果の確認	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	1.08	0.35	0.25	0.41	0.77	0.21	0.26	0.45	0.33	0.55	0.33	0.42
2024年	1.06	0.45	0.16	0.38	0.44	0.31	0.15	0.21	0.55	0.40	0.70	0.54

提案活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標(13件/人・年間以上)	○	・年間目標13件/人に対して実績18.5件で目標を大きく達成することができました。
・社員の提出率50%以上	○	・次年度も目標達成できるよう提案活動を進めていきます。
・提案集作成、実施状況の把握	○	
・提案実施率の向上(目標:累計 100%)	×(98%)	
・提案実績の掲示	○	

取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2011年	0.21	1.33	1.33	1.38	1.58	1.50	0.46	1.46	1.08	1.50	1.96	2.79
2024年	1.25	2.25	1.70	0.70	0.70	2.40	1.80	2.35	1.80	0.30	1.45	1.80

リスクへの備え

事業継続力強化への対応

令和4年7月19日 事業継続力強化計画に係る認定取得



緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: シンナー引火による火災	
■実施日: 2024年 6月 4日	■実施場所: 3F洗淨場
■参加者: 実施責任者ほか2名	
■実施内容: ☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☐ 避難訓練 ・シンナー引火による火災を想定して消化テストを行う。 ・消火用砂と消火器の代用として火災が発生したと想定して布ウエスをまき消化する。 ・火災発生時の初動処置手順(規02-04-01)の確認。	
■評価: 手順書通りの行動ができた	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	



緊急事態の想定: 油流出事故の発生	
■実施日: 2024年 6月 4日	■実施場所: 1F油倉庫前
■参加者: 実施責任者ほか2名	
■実施内容: ・廃油運搬時、事故発生を想定し、油の代わりに水を溢して水の拡散状況を確認した。 ・雨水口に水が流入するのを防止するため、吸着マットで雨水口の周りを囲むテストを実施。 ・雨水口への油の流入を想定して、下流の雨水口に吸着マットの代わりにゴミ袋を投入した。	
■評価: 手順書通りの行動ができた	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	



マネジメントレビュー

実施日：2025年5月28日

《経営者のコメント》

◆継続的改善の機会

品質の保証と生産性の向上の両立を目指してください。

◆品質マネジメントシステムのあらゆる変更の必要性

3次文書や帳票・様式も含めた見直しをお願いします。

◆継続的改善の機会に関する決定

全従業員が改善提案の目標件数をクリアするようにして下さい。

◆環境目標が達成されていない場合の処置

四半期毎にチェックして、未達であれば是正処置を実施願います。

◆組織の戦略的な方向性に関する示唆

規模を追わず、採算性を重視します。

◆業務の効率化

各部門の業務効率化に向けた取り組みに期待しています。
各分科会活動についても、同様に業務効率化につながる取組み
(3-Sの推進、作業時間短縮、不良削減、改善提案など)を期待しています。
各オブザーバーは、分科会活動への積極的な関与をお願いします。

◆コスト意識

加工時間や工具費用など、実態把握に努め、各部門で情報を共有して下さい。

◆人材育成

人材の採用が非常に厳しい状況が続きます。
若手の技能向上に努めて下さい。
同時に、作業の標準化・自動化・無人化を推進するようにして下さい。

* コンプライアンス(法令遵守)やCSR(企業の社会的責任)への取り組みが求められています。
地球保全だけでなく、人権・多様性の尊重、安全操業、公正な取引、機密情報の管理などに配慮して、
社会的に正しい企業活動を行っていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

2024年 3月 なにわエコ会議 CO2削減コンペにおいて『優秀賞』を受賞 取組み事例発表



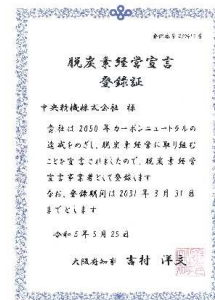
2024年 9月 ソーシャル企業認証制度 S認証取得



ソーシャル企業認証制度 S認証
Social and Sustainable business standard

2024年 3月 なにわエコ会議 CO2&プラごみ削減コンペにおいて『プラスチック削減努力賞』を受賞
2023年 10月 太陽光パネル(410W×33枚 総合出力電力量=15,068kWh/年)を増設
2023年 10月 工場内の蛍光灯をLED化(工場内LED化完了)

2023年 10月 空調設備4台を高効率空調設備へ更新
 2023年 5月 脱炭素経営宣言登録



2023年 3月 なにわエコ会議 CO2削減コンペにおいて『優良賞』を受賞
 2022年 12月 防災備蓄品「BISTA」を設置



2022年 7月 事業継続力強化計画 認定取得
 2021年 3月 なにわエコ会議 CO2削減コンペにおいて『優良賞』を受賞
 2019年 10月 事業継続力強化計画 認定取得
 2019年 3月 食堂の蛍光灯をLED化
 2019年 2月 なにわエコ会議 CO2削減コンペにおいて『ユニーク賞』を受賞
 2017年 12月 ISO14001:2015 認証取得
 2017年 12月 ISO9001:2015 認証取得
 2017年 10月 工場内の水銀灯をLED化、空調設備更新
 2015年 11月 AED設置

2015年 3月 生産管理システムを導入
 2014年 3月 ISO9001:2008 認証取得
 2012年 8月 事務所の蛍光灯をLED化
 2011年 3月 太陽光発電設備(25.4kW)を設置
 2005年 6月 デマンド監視装置を設置
 2004年 2月 ISO14001:2004 認証取得



□編集後記

分科会の皆さん、日頃の分科会活動への取り組み有難うございます。
 お陰様で今年度も無事に目標を達成し終える事ができました。
 ご協力に感謝申し上げます。
 さて、新しいメンバーでの分科会活動がスタートしましたが、
 新メンバーが入る事により、物事を今までにない違う目線で見ることができ
 新たな気付きに期待しております。
 ここからは取り巻く環境の話となりますが、昨今の地球温暖化の影響により
 夏場の酷暑や局地的な豪雨と言った地球規模での環境の変化が
 発生しており、今後益々環境への取り組みが重要な位置づけとなります。
 弊社では環境方針の中の行動指針に基づき分科会活動を行って
 頂いております。分科会活動は地道な活動ではありますが、皆さんの活動は
 決して無駄ではなく確実に社会へ貢献しておりますので、自信を持って
 更なる高みを目指し取り組ん頂ければ幸いです。
 今後も引き続き、環境活動への取り組みにご協力をお願い申し上げます。